# 令和5年度木造住宅耐震化補助事業 申込受付中

マグニチュード８～９クラスの**南海トラフ巨大地震**が、今後３０年以内に７０～８０％程度、４０年以内では９０％程度の確率で起こると言われています。巨大地震に備えて、建物の倒壊や家具の転倒による圧死から身を守り、迅速に避難するためには、住まいの耐震性を確保することが重要です。勝浦町では、耐震性のない木造住宅の耐震改修工事等に**町独自で上乗せした補助金制度**を設け、住まいの耐震化を積極的に支援しています。**【国費の配分枠内での事業執行となりますので、事前にご相談ください。希望者多数の場合はお待ちいただくか、来年度以降の受付となる場合があります。】**

## 耐震診断 ≪無料≫

耐震診断員（建築士）がご自宅を訪問し、現地調査（外観・室内、２時間程度）を行います。後日、耐震診断員が再度訪問し、診断結果をご説明します。

【要件】

- 木造（在来軸組構法、伝統構法、枠組壁工法等）
- 平成 12 年５月 31 日以前に着工　・３階建て以下
- 住宅（併用住宅（居住部分が 1/2 以上）、共同住宅、長屋、借家、空き家を含む）

## 耐震補強計画 ≪無料≫

耐震結果を元に、改修工事の参考となる補強計画案と概算費用を提示します。

【要件】耐震診断で評点が 1.0 未満と判定された住宅

※耐震ｼｪﾙﾀｰ設置や住替え除却を予定している方は申込み出来ません

**評点とは？**

木造住宅の耐震性能を表す指標で、大地震の揺れに対して次のように判定します。

| 上部構造評点 | 判　定 |
|---|---|
| 1.5 以上 | 倒壊しない |
| 1.0 以上 1.5 未満 | 一応倒壊しない |
| 0.7 以上 1.0 未満 | 倒壊する可能性がある |
| 0.7 未満 | 倒壊する可能性が高い |

## 耐震改修 今年度より 補助上限 UP！

本格的な耐震補強にかかる費用（工事費や設計費）の一部を補助します。

【要件】

- 耐震診断の結果、評点が 1.0 未満と判定
- 改修後の評点が 1.0 以上に改善されるもの
- 高さ 1.5m以上の家具を全て固定すること
- 県に耐震改修施工者として登録された業者が施工
- 感震ブレーカー（分電盤タイプ）を設置すること

【補助額】

**最高160万円（補助率4／5）**

## 耐震シェルター

室内に耐震シェルターまたは耐震ベッドを設置する費用の一部を補助します。

【要件】

- 耐震診断の結果、評点が 1.0 未満と判定
- 高さ 1.5m以上の家具を全て固定すること
- 県に耐震改修施工者として登録された業者が施工
- 啓発モニターとして協力すること（ｼｪﾙﾀｰの場合）

【補助額】　※耐震ベッドは最高 55 万円

**最高110万円（補助率4／5）**

併用可能　　併用可能

## スマート化（リフォーム）

耐震改修または耐震シェルター設置と併せて行うスマート化工事（リフォーム含む）の費用の一部を補助します。

【要件】

- 耐震改修事業または耐震シェルター設置事業と併せて行うこと
- スマート化工事※1を何か１つ実施すること（リフォームは任意）

【補助額】

**最高30万円（補助率2／3）**

**※町内業者が施工でさらに 20 万円の上乗せあり**

**例えば･･･スマートロック（３万円程度）を設置して、キッチンやトイレなどのリフォームを行うのもＯＫ！**

## 減災化 New

自力での耐震化が困難な世帯向け、家具の固定や配置の工夫等、相談員・作業員の派遣

【要件】　★詳しくはお問合せください

- 平成 12 年５月 31 日以前に着工された住宅（非木造含む）で居住していること
- 高齢者世帯（単身・夫婦）、要支援・要介護認定を受けた世帯、障がい者手帳所有者がいる世帯
- 感震ブレーカー（分電盤タイプ）を設置すること

**家具固定 自己負担4千円**

※1　スマート化工事の例

- 見守り機能付きトイレ設置
- 見守りセンサーの設置
- スマートロックの設置
- 遠隔確認機能付き宅配ﾎﾞｯｸｽ設置
- 地震計の設置　　など

**■申込〆切：令和５年９月 29 日（金）　※先着順　　勝浦町建設課　☎０８８５－４２－１５０６**